利用成果報告書

1 課題番号　R6-015

2 報告者　山田　薫　東京大学医学部附属病院

3 利用区分　成果公開有償利用

4 利用課題名　アルツハイマー病タウタンパク質のクリアランスに関する研究

5 使用装置名　クリオスタット

6 利用期間　令和　6年　7月　19日　～　令和　7年　3月　31日

7 利用成果・実績の概要　脱灰した脳サンプルを用いることで硬膜、軟髄膜を含む組織切片を作出することができ、各種髄膜マーカータンパク質の発現を確認することができた。

8 社会・経済への波及効果　タウの頭蓋外への除去経路の詳細が解明されれば、タウのクリアランス促進というこれまでにない神経変性疾患治療薬開発につながることが期待できる。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
アルツハイマー病と脳細胞外液ダイナミクス	山田 薫、西田 達、坂本 亜沙美、岩坪 威	第130回日本解剖学会・第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会 合同大会	R7.3.17	国内
細胞外動態から探るタウ伝播と神経変性機構	山田 薫	第18回 理研DMP 創薬セミナー	R6.12.18	国内
Extracellular protein landscape during tauopathy in mice.	Kaoru Yamada, Itaru Nishida, Asami Sakamoto, Takeshi Iwatsubo	CSHL meeting: Neurodegenerative Diseases: Biology & Therapeutics	R6.12.1	国外
アルツハイマー病におけるタウと apoE の役割: 新たな「multi hit」仮説の視点から	山田 薫	第43回日本認知症学会学術集会	R6.11.22	国内
アルツハイマー病リスク因子としての apoE4の役割	山田 薫	第3回APOE研究会	R6.9.28	国内
アルツハイマー病の新たな治療標的: グリンファティックシステムの役割とその機能不全	山田 薫	新潟脳神経研究会特別例会	R6.9.11	国内
Unraveling the Dynamic Interplay between Alzheimer's Disease and the Glymphatic System	Kaoru Yamada, Risa Nishiyama, Hironaka Igarashi, Takeshi Iwatsubo	第47回日本神経科学学会/第67回日本神経化学会	R6.7.26	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Chronic Neuronal Hyperexcitation Exacerbates Tau Propagation in a Mouse Model of Tauopathy	Itaru Nishida, Kaoru Yamada, Asami Sakamoto, Tomoko Wakabayashi, Takeshi Iwatsubo	International Journal of Molecular Sciences	R6.8.19	国外